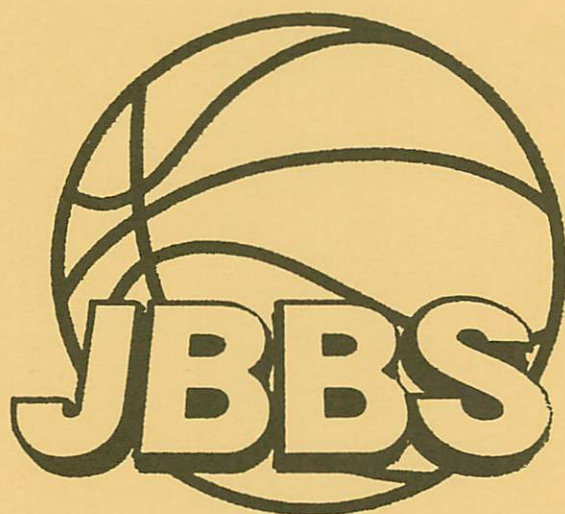


バスケットボールプラザ

Basketball Plaza

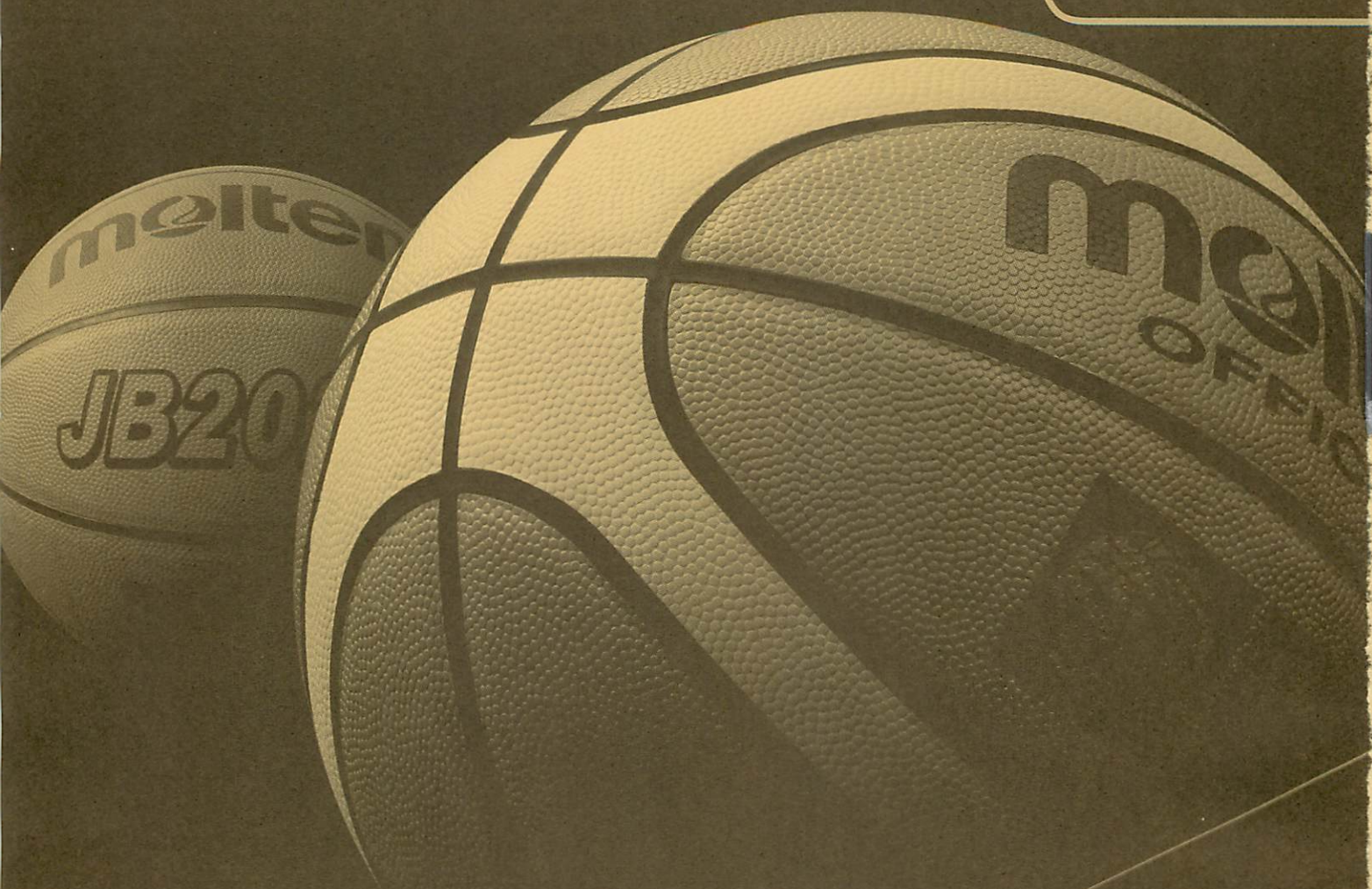
No:42



2009年8月

NPO法人 日本バスケットボール振興会

molten[®]
For the real game



For the real game

「プレイヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」

私たちモルテン・ブランドは、この信念をもとに

世界に類のないボールと

スポーツエキップメント・メーカーとして

つねに完璧な製品づくりを目指しています。

本大会唯一の公式試合球

BGL7
GL7 国際公認球 検定球
貼り・天然皮革、7号球



www.molten.co.jp

株式会社 **モルテン** 東京本社 〒130-0003 東京都墨田区横川5丁目5-7

DASH CONCEPT
一歩で抜き去る
GELBURST SLASH

NEW 4月下旬発売 **GELBURST SLASH**

TBF652 ¥16,800 (本体¥16,000)

■カラー：0151 ホワイト×ミッドナイトネイビー・0193 ホワイト×サンライトシルバー
■サイズ：23.5～30.0・31.0・32.0cm

株式会社 **アシックス**

新しいバーストの秘密は.....

アシックスで聞え

検索

携帯サイトOPEN!!



アシックスはバスケットボール日本代表チームのオフィシャルサプライヤーです。



アシックスシューズのストライプデザインはアシックスの商標であり、世界の多くの国で登録された商標です。
表示価格は消費税込みのメーカー希望小売価格です。()内は消費税抜きの価格です。商品についてのお問い合わせは「(株)アシックスお客様相談室」までどうぞ。
03-3624-1814、06-6496-5151 ※限定商品についてはお取扱いのない販売店、及び商品の数量に限りがありますのであらかじめご了承ください。

目 次

- 男子日本代表チーム準優勝 3
第1回東アジア選手権大会兼F I B Aアジア選手権予選
- F I B Aアジア男子選手権大会概要 6
- F I B Aアジア女子選手権大会 9
開催期日と開催国決定
- 女子U-19日本代表チーム世界選手権へ 10
- W J B L帰化予定選手に門戸 13
- 戦後初めての国際試合に出場して 14
ハワイA J Aと対戦した方々の座談会
- バスケットボールとの関わり 稲垣 安二 21
- スタッツ (STATS) について 坂本 博 24
- 会員だより 山本 嘉宏 27
鷲沢 秀夫 29
川戸 政角 31
- 全国シニア交歓大会 in Y O Y O G Iに参加して 33
参加各チームからの感想文
- インターハイ組合せ 42
- 事務局だより 44
- プラザこぼればなし 45

男子日本代表チーム準優勝

第1回東アジア選手権大会 兼 F I B A アジア男子選手権大会東アジア地区予選

[編集部]

6月10日から愛知県小牧市で開催された表記大会において、男子日本代表チームが準優勝し、久しぶりに明るい話題となった。

今回からアジアにおける男子選手権大会に出場するには、各地区（東アジア、東南アジア、中央アジア、西アジア、湾岸）で予選を行い上位2チーム以内に入ることが必要となった。

東アジア選手権大会に出場したのは6ヶ国で、3チームずつ2グループに分けて総当りのリーグ戦を行い、各グループの上位2チームが決勝トーナメントに進んで順位を決める方式で行われた。

日本は、決勝で韓国に惜敗したものの、準決勝では中国を破る快進撃となり、8月6日から中国において開催されるF I B A アジア選手権大会への出場権を獲得した。

[代表チーム]

主なスタッフ

	氏名	所属
スーパーバイザー	倉石 平	日本協会
ヘッドコーチ	デイビッドA・ホップス	日本協会
アシスタントコーチ	後藤 正規	日本協会
通訳/アシスタントコーチ	清永 貴彦	レラカムイ北海道
アシスタントコーチ	水野 宏太	リンク栃木ブレックス
総括/マネージャー	川島 健太	J B L
通訳	本永 昌生	日本協会

選 手

No.	氏名	P	身長	体重	年齢	所属
4	岡田 優介	S G	185	78	24	トヨタ自動車アルパルク
5	山田 大治	P F	200	105	28	レラカムイ北海道
6	桜井 良太	G	194	75	26	レラカムイ北海道
7	五十嵐 圭	G	180	68	29	日立サンロッカーズ
8	柏木 真介	G	183	80	27	アイシンシーホース
9	折茂 武彦	S G	190	77	39	レラカムイ北海道
10	竹内 公輔	P F	205	98	24	アイシンシーホース
11	網野 友雄	S F	196	87	28	アイシンシーホース
12	竹田 謙	S F	188	80	30	リンク栃木ブレックス
13	石崎 巧	G	188	85	24	東芝ブレイブサンダース
14	伊藤 俊亮	C	204	110	29	リンク栃木ブレックス
15	竹内 譲次	S F	205	98	24	日立サンロッカーズ
	平均		193	87	28	

[予選ラウンド成績]

順位	グループA	KOR	CHN	HKG
1	KOR 韓国		○70	○92
2	CHN 中国	●62		○99
3	HKG 香港チャイナ	●71	●64	

順位	グループB	JPN	TPE	MGL
1	JPN 日本		○78	○109
2	TPE チャイニーズ・タイペイ		●66	○99
3	MGL モンゴル	●65	●59	

[決勝ラウンド成績]

準決勝

グループ	チーム	1 P	2 P	3 P	4 P	合計	勝敗
A 1	KOR	15	17	28	26	86	○
B 2	TPE	17	9	27	18	71	●

グループ	チーム	1 P	2 P	3 P	4 P	合計	勝敗
B 1	JPN	14	15	17	22	68	○
A 2	CHN	18	8	10	27	63	●

第1ピリオド

互いにマンツーマンディフェンスでスタート、中国の得点が先行する。やや硬くなった日本はミスを連発し一時は2-11とリードを許す。その後日本は、#15 竹内の連続得点や#9 折茂の3Pシュートで11-11に追いつくが、中国は#14 シューの連続得点で14-18とし、中国リードで終わる。

第2ピリオド

日本はアウトからのシュートが決まらず点差が詰まらない状況でガードを#7 五十嵐に代え、ナンバープレーから#5 山田のシュートが決まると、#6 桜井のダンクシュートが出て流れをつかむ。2点差に詰まったところで中国がタイムアウトをとり、ディフェンスをゾーンに変えるも#6 桜井のシュートが決まって同点となる。日本はさらに#9 折茂の3Pシュートが決まって29-26の3点リードで前半を終了。

第3ピリオド

日本の勢いは止まらず、#6 桜井の速攻や#9 折茂の3Pシュートなどで得点を重ねる。中国も負けじと攻めるが、攻撃に勝った日本は46-36と10点差をつけてこのピリオドを終わる。

第4ピリオド

開始3分、中国の連続得点で48-47の1点差となる。日本は#10 竹内のシュートや#6 桜井の速攻などで得点し一進一退となる。残り3分を切ったところで#7 五十嵐の3Pシュートで4点リードするが、中国もバスケットカウントで1点差にする。日本は#15 竹内のシュートで3点差にすると中国がファウルゲームを仕掛けてくる。最初のフリースローこそ入らなかったが、その後は#8 柏木がすべて決めて68-63で日本が接戦をものにした。

この結果、日本は決勝に進出し2位以上が確定、この時点で8月に開催されるアジア選手権大会への出場権を獲得した。

決勝戦

チーム	1 P	2 P	3 P	4 P	合計	勝敗
JPN	19	18	12	9	58	●
KOR	19	19	15	15	68	○

第1ピリオド

韓国が出だしなかなかシュートの決まらないうち、日本は#15 竹内の連続シュートなどで10-5とリードする。韓国のタイムアウト後、韓国はシュートが入り始めるが、日本も#10 竹内、#15 竹内のインサイドで応戦し、19-19の互角で終わる。

第2ピリオド

韓国は連続3Pシュートが入り一歩リードし、30-23になったところで日本がタイムアウト。その後日本は厳しいディフェンスで韓国にシュートを打たせない。タイムアウト後の4分間をフリースローの2点に抑える一方#5 山田のリバウンドシュートで逆転する。韓国は残り2分にシュートが決まり再逆転、38-37の1点韓国リードで前半を終わる。

第3ピリオド

両チームとも激しいディフェンスで楽にシュートを打たせず、開始から3分間フィールドゴールが決まらない。こう着状態から先に抜け出したのは韓国で、6点リードする。日本は#7 五十嵐の速攻や#9 折茂のミドルシュートなどで追いつき、53-49の4点韓国リードで終わる。

第4ピリオド

日本は3Pシュートで追いつこうとするが、逆にスティールから韓国に速攻を決められ、ペースをつかめない。韓国もフリースローを落とすなど点差は広がらなかったが、#15 キムの3Pシュートで64-57となったところで日本がタイムアウト。その後日本は3Pを打つがこれが決まらず、韓国にリバウンドを取られて逆に差が広がり68-58の10点差になってしまう。韓国はそのまま逃げ切って優勝、日本は準優勝となった。

[大会最終順位]

優勝	KOR	韓国
準優勝	JPN	日本
第3位	CHN	中国
第4位	TPE	チャイニーズ・タイペイ
第5位	HKG	香港・チャイナ
第6位	MGL	モンゴル

6月10日から愛知県協会の協力により始まったこの大会は14日で閉幕したが、期間中延べ9,300名余りの観客動員となり、最終日の決勝戦は文字通り超満員となった。

日本は予選ラウンドでチャイニーズ・タイペイに快勝し、決勝ラウンド1回戦で中国に競り勝った実績は大きい。中国は今回のアジア選手権開催国ゆえ出場権が与えられていて若手中心のメンバーだったが、長年にわたって勝つことができなかった中国を破っての準優勝は、これからの展望に結びつく。

男子日本代表チームとして、更なる強化を図り来るべきアジア選手権で3位以内を確保して、是非とも世界選手権大会へと歩を進めてほしいものである。

プラザ こぼればなし

- ◇ 第2回全国シニアバスケットボール交歓大会を、代々木第二体育館で開催したことは既報のとおりだが、今回参加チームに感想を提出していただいたところ、予想を上回る感想文が寄せられた。

そのほとんどが再度代々木でバスケットをやりたいという強い希望で、高齢のファンもしくは、昔選手だった方々のバスケットに対する熱い情熱を感じた。

- ◇ 全国シニアバスケットボール交歓大会に、遠く神戸から参加頂いたシルバーキッズとシルバーキッズレディース。

地元では、「いつまでも少年の心を！」をスローガンにした高齢者のバスケットボールクラブとして注目を集めている。

神戸新聞は、数回にわたって紹介記事を掲載し、読売新聞地方版でも大きな見出しと写真入りで紹介された。

まさに平素のコツコツとした活動が実った形であるが、新聞紹介記事の中には、日本バスケットボール振興会の名前もあり喜ばしい限りである。

今後の更なる活動を期待したい。



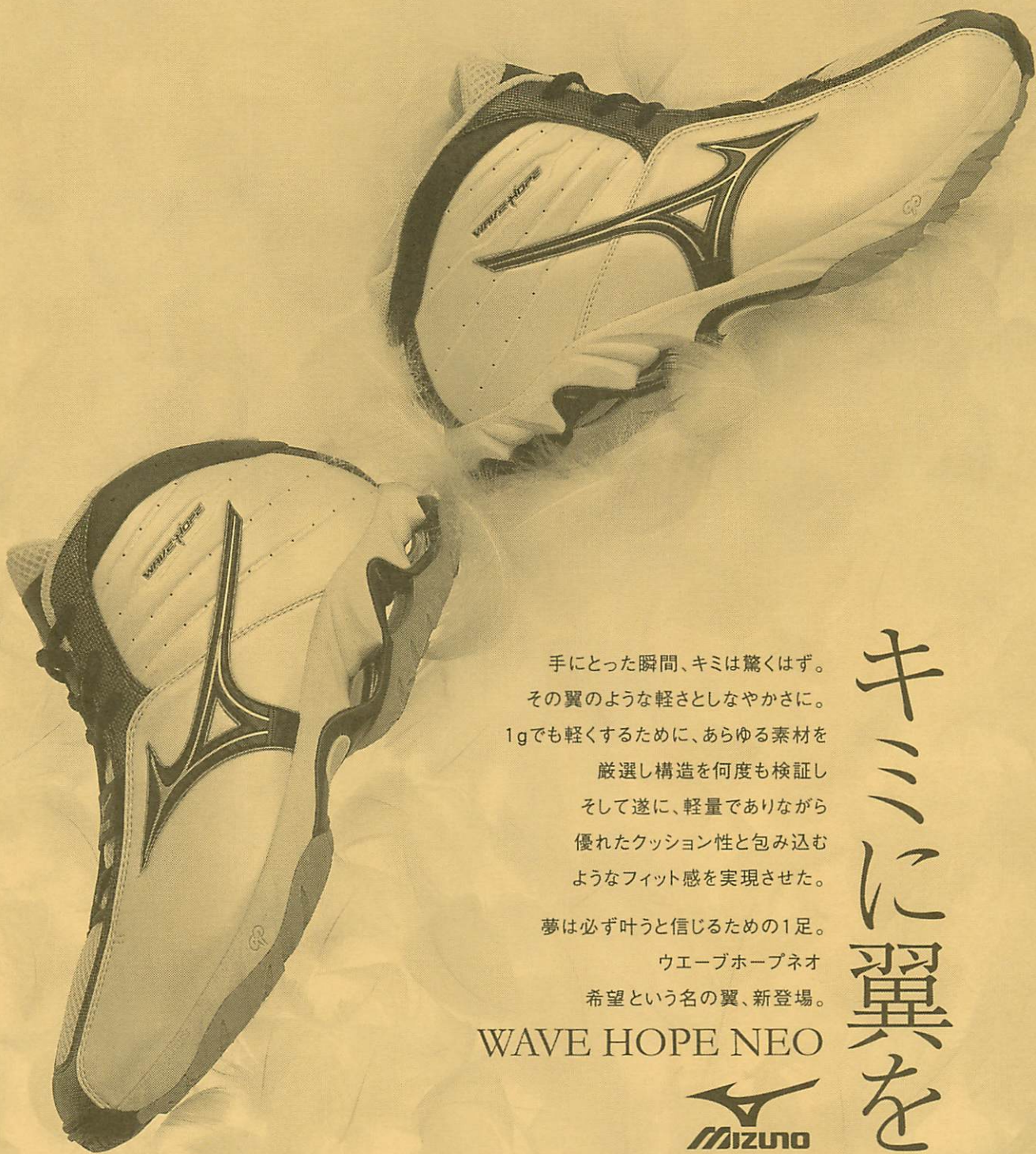
- ◇ 男子日本代表チームのデビッド A ヘッドコーチが健康上の問題でコーチングをつづけられなくなり、このほど解任された。外国籍コーチについてはその技術に期待するところは大きいですが、スムーズにいかないケースも散見される。

後任には倉石理事が就任したが日本のコーチ陣がコーチング技術をさらに磨いて、日本代表チームの躍進に是非一役買ってほしいものである。

- ◇ 最近、審判の判定についての苦情をあちこちで耳にするが、それらのかなりの部分がローカルゲームのときに発生している。

日本協会の審判部はそれなりに審判技術の向上に努力していると思われるが、ローカルゲームを担当する審判の技術向上について言えば、少々手抜かりがあるのではないだろうか。

トップリーグはまだしも中堅層の審判技術の向上は正しいバスケットボール技術の向上にも影響するというのを肝に銘じてもらいたいもの。



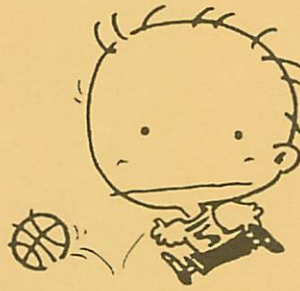
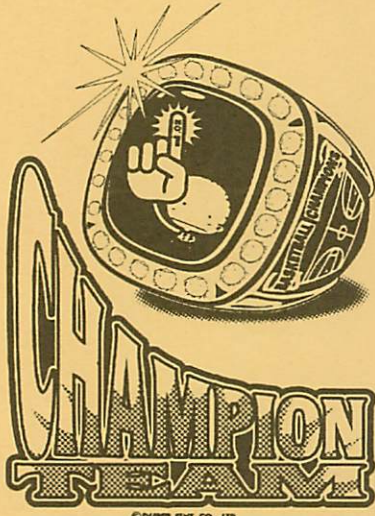
手にとった瞬間、キミは驚くはず。
その翼のような軽さとしなやかに。
1gでも軽くするために、あらゆる素材を
厳選し構造を何度も検証し
そして遂に、軽量でありながら
優れたクッション性と包み込む
ようなフィット感を実現させた。

夢は必ず叶うと信じるための1足。
ウエーブホープネオ
希望という名の翼、新登場。

WAVE HOPE NEO



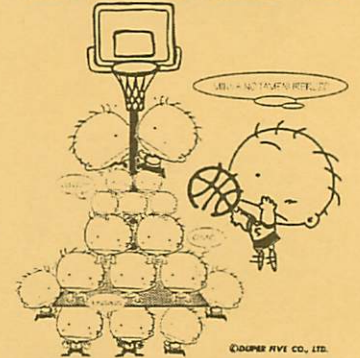
キミに翼を。



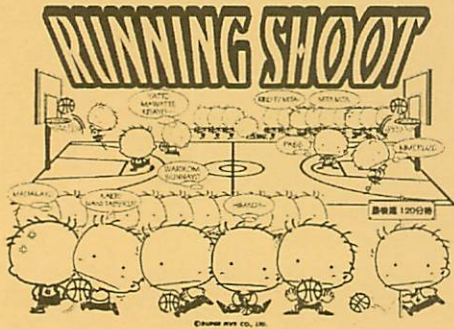
DUPER.

表現の自由人。

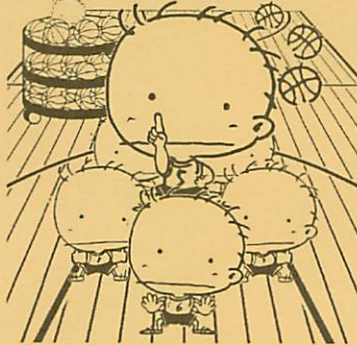
TEAM



PLAY



for the TEAM



DUPER®

デューパーファイブ株式会社
〒130-0023 東京都墨田区立川3-35
TEL . (03)3632-7045 (代表)
FAX . (03)3632-8327

URL : <http://www.duper.co.jp>

E-mail: info@duper.co.jp